

貸借対照表

平成 22年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
【流動資産】	1,118,765,899	【流動負債】	1,716,759,724		
現金・預金	62,445,151	支払手形	346,972,677		
受取渡掛	172,724,994	買掛金	228,153,241		
不売商製仕原貯前未立仮共繰貸	3,676,937	短期借入金	926,000,000		
	625,108,956	預り金	3,318,569		
	52,128,273	仮受金	200,000		
	2,770,729	未払費用	25,026,477		
	141,100,029	未払事業所得税	2,949,400		
	25,057,031	未払消費税	9,419,900		
	490,000	未払法人税等	9,896,700		
	2,430,457	従業員賞与引当金	35,964,200		
	7,012,669	・年内返済長期借入金	119,552,000		
	3,431,809	短期リース債務	9,306,560		
	429,555	【固定負債】	755,581,817		
	4,215,284	長期借入金	697,822,000		
	19,420,962	建築未払金	16,841,113		
	△3,676,937	長期リース債務	4,040,175		
【固定資産】	1,045,667,703	役員退職慰労引当金	11,632,000		
(有形固定資産)	(891,964,659)	長期末払リース料	399,964		
建物	673,471,190	長期繰延税金負債	24,846,565		
構築物	17,237,947				
機械・装置	77,640,700				
車両・運搬具	750,000				
工具・器具備品	27,522,124				
土地	509,138,145				
一括償却資産	650,013	負債合計	2,472,341,541		
その他有形固定資産	1,157,143	純資産の部			
有形リース資産	34,620,305	【株主資本】	△312,231,769		
減価償却累計額	△265,351,605	資本金	220,000,000		
減損損失累計額	△184,871,303	(資本剰余金)	(15,807,600)		
(無形固定資産)	(11,738,935)	資本準備金	15,807,600		
特許権	1,375,635	(利益剰余金)	(△394,975,869)		
ソフトウェア	6,190,586	(その他利益剰余金)	(△394,975,869)		
水道施設利用権	810,695	圧縮積立金	33,132,932		
電話加入権	3,362,019	繰越利益剰余金	△428,108,801		
(投資その他の資産)	(141,964,109)	自己株式	△153,063,500		
出資	27,262,034	【評価・換算差額等】	4,323,830		
投資有価証券	39,218,498	その他有価証券評価差額金	4,323,830		
差入保証金	73,105,550				
貸倒引当金	△59,290,002				
出資積立金	28,257,398				
敷金	291,000				
長期積立金	1,400,000				
土地積立金	31,621,312				
長期前払費用	98,316				
長期売掛金	3	純資産合計	△307,907,939		
資産合計	2,164,433,602	負債・純資産合計	2,164,433,602		

個 別 注 記 表

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式・・・・・・ 移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のあるもの・・・・・・ 期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却
原価は移動平均法により算定)

市場価格のないもの・・・・・・ 移動平均法による原価法

②棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・原材料・・・・・・ 最終仕入原価法による原価法

製品・仕掛品・・・・・・ 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下
による簿価切下げの方法により算定)

貯蔵品・・・・・・ 最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）・・ 法人税法の規定による定率法

但し、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（付属
設備を除く）については定額法

耐用年数については、法人税法に定める耐用年数を
適用しております。但し、平成 10 年 3 月以前に取得し
た建物については、平成 10 年度の法人税法の改正前の
耐用年数を適用しております。

なお、平成 19 年度の税制改正に伴い、平成 19 年 4
月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正
後の法人税法の規定に基づいております。平成 19 年 3
月 31 日以前に取得した有形固定資産については、残存
価額 5 %に到達した資産については、備忘価額との差
額を 5 年間に亘り均等償却しております。

無形固定資産・・・・・・ 法人税法の規定による定額法

耐用年数については、法人税法に定める耐用年数を
適用しております。

リース資産・・・・・・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース
資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額
法によっております。

(3) 外貨建の資産及び負債の

本邦通貨への換算基準・・・・・・・・・・ 外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 売掛債権等については、債権の貸倒れによる損失に備えるため、破産更正債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

金融商品については、金融商品に関する会計基準に基づき回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

役員退職慰労引当金・・・・・・・・・・ 役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(5) リース取引の処理方法・・・・・・・・・・

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会 第一部会)、平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))に伴い、当事業年度から、同会計基準及び同適用指針を適用しております。

(6) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式により処理しております。

(7) 有形固定資産の帳簿価格

建物	440,677,904 円
建物付属設備	74,177,664 円
構築物	7,109,546 円
機械装置	27,145,870 円
車両運搬具	30,001 円
工具器具備品	3,574,891 円
土地	324,266,842 円
有形リース資産	13,174,785 円

(8) 受取手形割引高 30,000,000 円

(9) 減損損失

土地	184,871,303 円
投資有価証券	7,605,775 円

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数	440,000 株
(2) 当該事業年度の末日における自己株式の数	244,557 株

3. 税効果会計に関する注記

(1) 税効果会計の適用

法人税、住民税及び事業税について税効果会計を適用しております。

なお、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算にあたり適用した法定実効税率は 39.88%です。

(2) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な内容

未払事業税	672,736 円
未払事業所税	1,176,221 円
賞与引当金繰入額否認	14,342,523 円
未払社会保険料	1,994,376 円
貸倒引当金繰入限度超過額	733,181 円
減損損失	49,662,995 円
減損損失引当金	23,644,853 円
減価償却費超過額	7,051,761 円
繰延資産償却超過額	1,484,299 円
役員退職慰労引当金繰入額否認	4,638,842 円
投資有価証券評価損否認	3,033,183 円
その他	1,282,589 円
繰延税金資産小計	109,717,559 円
評価性引当金	△ 90,296,597 円
繰延税金資産合計	19,420,962 円
(繰延税金負債)	
買換資産圧縮積立金	△ 21,978,398 円
その他有価証券評価差額金	△ 2,868,167 円
繰延税金負債合計	△ 24,846,565 円
繰延税金資産の純額	△ 5,426,603 円

4. 賃貸等不動産に関する注記

(1) 当社では、工場用敷地及び工場の遊休資産を賃貸用不動産として所有しております。

これら賃貸等不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりであります。

(単位：千円)

貸借対照表計上額				当期末の時価
種 類	前期末残高	当期増減額	当期末残高	
土 地	110,524	0	110,524	101,209
建 物	141,460	△7,012	134,447	102,584

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却費累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

(注2) 当期増減額のうち、おもな減少額は減価償却費(7,012千円)であります。

(注3) 当期末の時価は、固定資産税課税明細書に基づいて自社で算定した金額(資表等を用いて調整を行ったものを含む。)であります。

また、賃貸不動産に関する平成22年3月期における損益は、次のとおりであります。

(単位：千円)

種 類	損益計算書における金額			
	営業収益	営業原価	営業利益	その他損益
土地建物	7,428	9,137	△1,709	

(注1) 営業収益及び営業原価は、賃貸収益とこれに対応する費用(減価償却費、租税公課)であり、それぞれ「雑収入」及び「販売費一般管理費」に計上されております。

4. 一株あたり情報に関する注記

(1) 一株当たり当期純利益	326 円
(2) 一株あたりの純資産額	△1,575 円